

Vol.19

National Hospital Organization Okayama Medical Center

2024.4

やさしさ便り~国立病院機構岡山医療センターの今

地域災害拠点病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 総合周産期母子医療センター

岡山医療センターの理念

今、あなたに、信頼される病院

- 1:医学的根拠に基づいた高度で良質な医療を提供します
- 2:病める人の権利と意思を尊重した、安心安全な医療を提供します
- 3:地域の中核病院として医療連携を通じ、地域社会に積極的に 貢献します
- 4:教育研修病院として医師、看護師等医療に従事する人材育成に 努めます
- 5:医学の進歩に貢献するために、臨床研究を積極的に行います
- 6:職員が仕事に誇りと充実感を感じられる病院作りをめざします
- 7:上記6項目を実現し維持するため、健全な病院運営に努めます

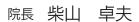
CONTENTS

- 院長就任のご挨拶
- 特集:呼吸器内科
- 特集:小児外科
 - 地域がん診療連携拠点病院について
- 9 初期研修医通信
- 10 能登半島地震 DMAT 隊員が命を守る活躍!
- 11 能登半島地震DMATロジスティックチーム派遣
- 輪島地区で医療支援活動NHO医療班が被災者に寄り添う
- 13 「令和5年度中国四国グループ臨床研修指導医養成講習会」のご報告
- 令和5年度チーム医療研修「チームで行う小児救急・成育」開催 ChatGPTに関する講演会がありました
- 良質な医師を育てる研修「呼吸器疾患」が当院で行われました。
- 15 16 令和5年度緩和ケア研修会/臨床研究推進室便り
- 特定看護師通信
- 18 歯科だより/リソースナース室通信
- 19 たまにはクラシック
- 20 健康レシピ
- 21 薬だより
 - 看護助産学校通信
- 22 23 医療安全レポート
- 金川病院だより



院長就任のご挨拶





令和6年4月1日付で独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの院長を拝命致しまし た、柴山卓夫と申します。誌面にてご挨拶申し上げます。私の岡山医療センターとの出会いは昭 和62年で、当時南方にありました国立岡山病院での内科研修に始まります。研修中は現在もご活 躍の多くの先生方にご指導頂き、私の医師としての基盤が出来上がったと思っています。その後、 平成25年に呼吸器内科医長として赴任し、11年が経ちました。この間、医師会及び連携医療機 関の先生方を初め、行政、福祉の関係の皆様方には大変お世話になりました。この場をお借りし ては御礼申し上げます。

当院は、昭和20年に陸軍病院を前身とし、国立岡山病院として岡山市伊福町に開院、その後、 昭和36年に南方に移転しました。さらに平成13年に当地田益に国立病院岡山医療センターとし て移転後、平成16年に独立行政法人国立病院機構岡山医療センターと名称変更致しました。

診療は急性期高度医療を軸とし、臨床研究、教育・人材育成にも力を注いでいます。地域医療 支援病院、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、がんゲノム医療連携病 院として、また国立病院機構として政策医療(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療、 災害時医療、周産期医療、小児医療)、移植医療(腎移植、骨髄移植)、運動器医療、難病医療 などに対する高度な急性期医療を提供しています。特に外科系診療におきましては、昨年11月よ り内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXiシステム」を用いたロボット支援手術を開始していま す。既に、前立腺摘出手術、直腸切除術、肺切除術が実施され、安全に行われました。今後は結 腸切除術、胃切除術等へも広げて参ります。





研究では、臨床研究部を有し、数多くの共同研究や治験を実施し、先進医療の開発に貢献し ています。また、教育・人材育成においては、岡山看護助産学校を併設し、良質な看護師、助産師 の育成に努めるとともに、全職種において国立病院機構内外の研修等へ積極的に参加しレベル アップを図っており、複数の全国研修会を主催するなど、安心安全な医療を推進しています。

また、地域災害拠点病院、原子力災害拠点病院に指定されており、平成30年の西日本豪雨や 令和2年の熊本豪雨、本年1月の能登半島地震へのDMATの派遣や国立病院機構独自の医 療班の派遣など、災害時医療においてもその役割を果たしています。

当院の理念は、「今、あなたに、信頼される病院」 -病める人への献身、医の倫理に基づく医療 への精進と貢献一です。私たちは地域に求められ、地域を支える病院で在りたいと願っておりま す。 令和 2 年から始まったコロナ禍におきましても、当院の救急外来機能を活用し、新型コロナウ

イルス患者に対応致しました。特に 他院では受け入れが難しい小児や 妊婦の積極的に受け入れ、関係各 所よりたくさんの感謝を頂きました。 今後も地域の方々や連携医療機関 様の安心を支えるために、24時間 対応の救急外来診療、小児周産 期医療を維持し、発展させてゆきた いと考えています。

今般、働き方改革による労働時 間の上限規制など、病院医療を取 り巻く環境は益々厳しくなっていま すが、地域医療への貢献を第一と して、地域の中核病院としての役割 を果たすため、職員一丸となって努 力して参ります。

今後とも、温かいご支援、ご協力 を宜しくお願い申し上げます。







呼吸器内科



■呼吸器内科医長 藤原 慶·

概要

呼吸器系専門病棟(10階B病棟:呼吸器内科と呼吸器 外科で構成され、病床数48床)を中心に、常時40~60人、 年間1000人を超える入院患者に対応しています。呼吸器専 門医(日本呼吸器学会)、気管支鏡専門医(日本呼吸器内 視鏡学会)、がん治療認定医(日本がん治療認定医機構)、

がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)である常勤医師 とレジデント/内科専攻医が診療に当たっています。 COVID-19診療では、基本的に内科全科が持ち回りで担当 していますが、当科は主に重症患者を担当しています。

当科の診療の特色

呼吸器疾患全般を幅広くカバーした診療を行っています。 また、呼吸器疾患は全身の臓器にまたがっていることも多く、 他の専門診療科と密に連携して診断・治療を行っています。

1) 気管支鏡検査

年間約300~350例に気管支鏡検査を行っています。ガイ ドシース法、EBUS-TBNA などのデバイスを用い、仮想気管 支内視鏡や迅速細胞診を組み合わせることで診断率の向上 を図っています。また、近年クライオバイオプシーを導入し、 十分な検体を採取することに力を入れています。

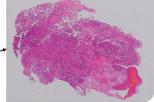


当院での気管支鏡検査の風景









クライオバイオプシーで採取した検体

2) ガイドラインに準じた肺癌の治療

最新の日本肺癌学会「肺癌診療ガイドライン」に基づいた 治療を提供しています。十分な検体を採取することで、ドラ イバー遺伝子異常の有無、PD-L1発現をルーチンに検索し ており、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤を用いた 治療を積極的に行っています。がんセンター東病院を中心と した全国規模のLC-SCRUM研究にも参加しています。ま た、科学的根拠に乏しい治療後期の患者さんに対しても、 「決して諦めない肺癌治療」をモットーに診療しています。

3)間質性肺疾患の診療

急性増悪による呼吸不全に対する治療(人工呼吸管理、 ステロイドパルス療法、免疫抑制剤を用いた治療)に加え、 ピルフェニドンやニンテダニブなどの抗線維化剤を比較的初 期の段階から導入しています。

4) 気管支喘息の治療

ステロイド/長時間作動型β2刺激剤などの吸入療法のみ ならず、生物学的製剤(オマリズマブ、メポリズマブ、ベン ラリズマブ、デュピルマブ、テゼペルマブなど)をコントロー ルが難しい患者さんに使用しています。

5) 硬性気管支鏡による処置

全身麻酔下に硬性気管支鏡下で、気道狭窄に対するシリ コンステント挿入や腫瘍・肉芽に対する焼灼などの高度な手 技を行っています。中国・四国地方では当院を含め数施設 でしか行っていません。

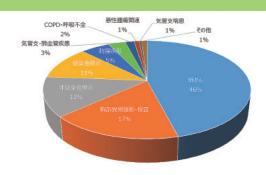




硬性気管支鏡での処置

入院実績

2022年度主要入院患者数:新入院患者数1,076人



ん 岡山医療センター呼吸器内科の現在

外来は常勤医7名が交替で診療しています。2024年4月 から当院で研修医、専攻医、レジデントとして研鑽を積んだ 瀧川雄貴先生が常勤医に昇任となりました。日常診療のみな

らず若手医師の育成にもより一層力を入れてくれるものと期待 しています。

(外来担当表)

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
初診外来	佐藤(晃)		佐藤(賢)		渡邉		工藤		瀧川	
通常外来	工藤		藤原		佐藤(晃)		渡邉		佐藤(賢)	
迪希外 木							柴山		藤原	

病棟はレジデント/内科専攻医が主体となって対応します。 呼吸器内科専攻医は現在計7名となっており、内科専攻医 1年目で将来呼吸器内科をsubspecialtyとする医師3名が 新たに我々の仲間に加わりました。本年度は内科各科をロー テーションすることになっています。 レジデント/内科専攻医 は病棟業務の主力であり、地域の先生方と密に連携を取り合 うこともあろうかと思いますので、どうぞよろしくお願い致しま す。

また、診療だけでなく研修医の指導にも力を入れています。 学会発表、論文作成についてもきめ細やかな指導を心がけ ており、呼吸器内科の明日を担う人材の確保・育成をめざし ています。



2023年12月16~17日に開催された第69回日本呼吸器学会中国・四国地方会 /第32回日本呼吸器内視鏡学会中国四国支部会において, 当科レジデント と研修医数名が優秀演題賞を受賞しました.

徳島学会発表集合写真

スタッフの紹介



NHO岡山医療センター呼吸器内科スタッフ

柴山 卓夫(昭和61年卒)院長 藤原 慶一(平成8年卒)医長 賢(平成9年卒)医長 佐藤 佐藤 晃子(平成10年卒)常勤医 工藤健一郎(平成18年卒)常勤医 洋美(平成22年卒)常勤医 渡邉 雄貴(平成28年卒)常勤医 瀧川 中村 愛理(平成30年卒)レジデント 藤原 美穂(平成30年卒)レジデント 松尾 涼果 (平成30年卒) レジデント 井上 智敬(令和元年卒)内科専攻医 市川 健(令和2年卒)内科専攻医 松本奨一朗(令和2年卒)内科専攻医 郷田 真由(令和3年卒)内科専攻医 (広島市民病院にて研修中) 慶祐(令和3年卒)内科専攻医 白羽 (NHO岩国医療センターにて研修中) 大後戸智也(令和4年卒)内科専攻医 北野 統己(令和4年卒)内科専攻医

笹埜 侑斗(令和4年卒)内科専攻医



小児外科



■小児外科医長 中原 康雄

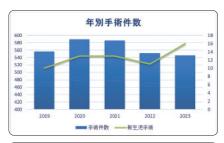
はじめに

当院の小児外科は、1974年に開設され、約50年に渡り岡山県および周辺地域のお子さんの外科治療を担ってきました。日本小児外科学会の認定施設に指定されており、緊急症例にも常時対応できる体制にしております。小児外科で治療する病気は、先天性の場合と、後天性の場合があります。多くの新生児外科疾患は先天性ですし、頻度の高い疾患である鼠径ヘルニア・停留精巣も先天性の範疇です。一方で虫垂炎などの救急疾患、小児がんの多くは後天性になりま

す。多彩な希少疾患を専門的に治療するのが小児外科の特徴といえますが、機能を再建する必要がある疾患に対しては、生涯にわたり問題の生じないような手術を施行することが重要です。また、若手小児外科医の育成を、島根大学、倉敷中央病院、四国おとなとこどもの医療センター、山口県立総合医療センターなどの中四国の施設と連携して行っており、一人一人のお子さんに最良の治療を提供できるように、一同、日々研鑽に励んでいます。

小児外科で扱っている疾患および治療

胸腹部から泌尿生殖器まで幅広く、手術が思っております。手術件数は年間500-600例くらいで中四国では最多となっています。





新生児外科疾患

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、 新生児外科疾患の治療経験も豊富です。新生児期に手術 を要する疾患の多くは、出生前に超音波検査で異常を指摘 されることが増えています。その場合は、ご家族には病気と 治療、そして予想される経過について正確な情報を知ってい ただき、少しでも不安を和らげることができるように医師、看 護師、臨床心理士など多職種が関わりサポートをしています。 分娩方法や時期を計画し、出生後の検査で病気の診断が確 定すれば、手術等必要な治療を行います。横隔膜ヘルニア などの高度な集中治療管理が必要な疾患は、新生児科の協 力のもと治療を行うことになります。我々は、できるだけ赤ち ゃんの体に負担が少なく、合併症のない、そして長期的に機 能予後が良好な手術術式を選択するようにしております。複 雑な疾患の修復手術は、多段階で行う必要がある場合も少 なくなく、長期のフォローを要しますが、一人一人のお子さん の成長発達をご家族とともに見守りながら診療していきます。

肝・胆・膵疾患

新生児、乳児期早期の便色が薄い場合は、胆汁うっ滞性疾患の可能性を考慮し、精査が必要となります。特に胆道閉鎖症では、できるだけ早期の根治術が望ましく、健診等で微妙な便色に気付いた場合は早めにご連絡をいただきたいと思います。胆道拡張症はほとんどが膵・胆管合流異常を伴っており、将来の悪性腫瘍発生を防ぐために可及的早期に手術を施行しております。当院では腹腔鏡もしくは開腹で、肝外胆管の切除と肝管空腸吻合による再建術を施行しています。

小児悪性腫瘍

小児がん認定外科医と小児科の小児血液腫瘍専門医とで協力して治療を行っております。神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫に代表される固形腫瘍の治療は国内の研究グループのプロトコールに準拠して行っております。肝芽腫や腎芽腫の治療成績は非常に良好ですが、近年では高リスクの神経芽腫も他施設と連携することで向上してきております。また、カンボジアの小児がん治療にも協力しています。

泌尿生殖器疾患

閉塞性尿路疾患、膀胱尿管逆流症の他、尿道下裂や総排泄腔異常などの複雑な先天異常の治療に力を注いでおります。治療に難渋するような複雑な疾患の場合は県外からもご紹介いただく場合があります。また総排泄腔異常に関しては、国内でも治療経験の豊富な施設の1つで、その最良の治療法の確立を目的として、第1回(2023年)と第2回(2024年)の総排泄腔異常シンポジウムを岡山で開催いたしました。

腎移植

当科では小児腎不全外科診療として腎移植も行なっており、小児科清水先生、腎臓移植外科藤原先生、泌尿器科 医師と協力し2020年4月から現在まで19例の小児腎移植を

行なっております。日本では年間100例前 後の小児腎移植が行われておりますが、 低体重児や排尿機能異常合併症を有する など、治療困難な小児腎臓病患者に対し 小児腎移植診療を提供できる施設が少な く、近畿地方から中国四国地方の小児腎 臓科医から当院に腎移植希望の患者さん をご紹介いただいております。また、近年 全国的に脳死下臓器提供は増加傾向にあ り、さらに小児の脳死ドナーから小児患者

への優先的な臓器提供がなされるため、当院でも献腎移植 登録を積極的にお勧めし、2020年以降11例の患者さんに献 腎移植を行いました。腎移植のみならず、腹膜透析や血液 透析、さらに小児神経疾患や代謝疾患に対する血液浄化療 法も積極的に行っております。中四国をはじめ、西日本の小 児腎臓病患者さんに高度な腎不全診療を提供できるよう、引 き続き尽力いたします。



参加いただいた先生方との集合写真

鏡視下手術

美容的に優れ、拡大視野で手術を施行することが可能で あり、小児においても広く行われるようになっています。当科 での手術の約20%が鏡視下手術です。腹腔鏡、胸腔鏡、 膀胱鏡、高精細外視鏡などを用いております。種々の疾患 に対応していますが、慎重に適応を判断し、患児にとってメ リットが大きい場合に選択しております。

東南アジア医療支援

ミャンマー、カンボジア、ラオスなどの発展途上国の小児外科医療を、 ジャパンハートと連携して、長年にわたり行ってきました。現地に渡航し て手術を施行することが多いのですが、特殊な治療を要する場合は当院 で治療を施行する場合もあります。現在までに現地、および当院で400件 以上の手術を施行してきました。2023年は複数の小児外科医師が7度、 カンボジアに渡航し5件の肝腫瘍切除、4件の腎腫瘍切除などの小児 悪性腫瘍手術の他、多くの高難度な手術を施行しています。





スタッフの紹介

令和6年度は、小児外科医師5名(中原、高橋、向井、 浮田、高田)が常勤として対応しております。加えて青山興 司先生(名誉院長)と後藤隆文先生(前副院長)、花木祥 二朗先生にも週に1-2回お手伝いいただいております。



中原 向井 浮田

〈医長〉

中原 康雄(小児外科指導医・専門医、外科専門医、小 児がん認定外科医、小児泌尿器科学会認定 医)

高橋 雄介(小児外科専門医、外科専門医、移植学会移 植認定医、小児泌尿器科学会認定医、臨床 腎移植学会認定医)

〈常勤医師〉

亘(小児外科専門医、外科専門医) 向井

浮田 明見(小児外科専門医、外科専門医)

高田 知佳(外科専門医)

〈非常勤医師〉

花木祥二朗 (非常勤)

青山 興司 (名誉院長)

後藤 隆文(前副院長)

おわりに

新たな知見、技術、新しい医療機器を取り入れながら、よ りよい小児外科医療を目指して日夜診療に励んでいます。小 児外科に相談したいと思われる患者さんがおられましたら、 いつでも対応しますので、ご連絡ください。

地域がん診療連携 拠点病院について





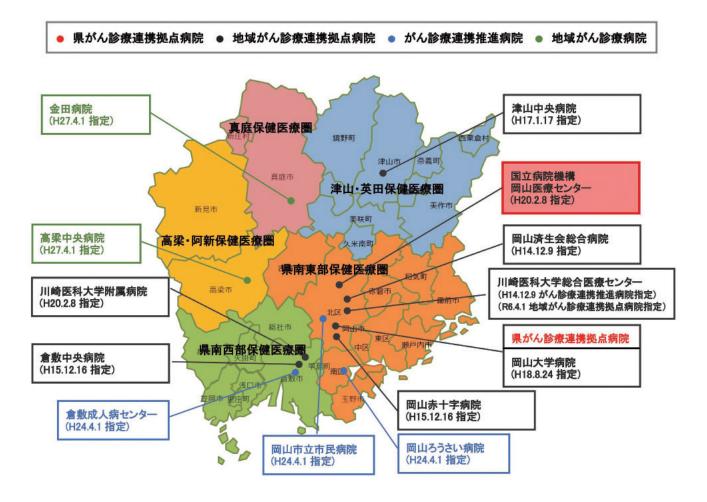


■がん診療運営委員会 戸村 悦子、清水 由里恵、市川 孝治

「がん診療連携拠点病院」とは、全国どこでも質の高いがん医療が受けられるよう、地域のがん医療水準の引き上げを行うことを目的とするもので、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、都道府県知事の推薦に基づき厚生労働大臣により指定された病院のことです。「がん診療連携拠点病院」には、各都道府県で中心的役割を果たす「都道府県がん診療連携拠点病院」と、都道府県内の

各地域で中心的役割を果たす「地域がん診療連携拠点病院」があり、他に、がん診療連携拠点病院がない地域に、隣接する地域のがん診療連携拠点病院のグループとして指定された「地域がん診療病院」と、がん診療連携拠点病院に準じる病院として「がん診療連携推進病院」があります。岡山医療センターは、平成20年2月8日に「地域がん診療連携拠点病院」に認定されました。

〈岡山県内のがん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・がん診療連携推進病院〉



岡山医療センターは、がんの予防、診断、治療及び調査、研究並びに研修及び啓発広報等の向上に資することを目的とした、「がん診療運営委員会」を設置しています。国が

定めたがんに関する診療体制や設備、情報提供、他の医療機関との連携などの指定基準を満たすために具体的な検討を行っています。

〈がん診療運営委員会 構成〉



「地域がん診療連携拠点病院」として、がん患者さんそ してご家族の方々、さらには、地域の方々を対象に、がん 診療・治療に対する認識・理解を深めていただくことを目 的にがん市民公開講座を定期的に開催しています。当院 のホームページに、今までに開催したがん市民公開講座

の一覧を掲載しています。また、YouTube 動画配信のみ で行ったがん市民公開講座については、いつでもご視聴 いただけるようにしていますので、是非ご覧ください。



初期研修医通信

■初期臨床研修医 永井 詩織

れよりも、それぞれが経験した症例

初めまして、研修医2年目の永井詩織と申します。 今年の春は、気温の上りが例年よりも遅く、丁度桜カ ーニバルの時期に合わせて桜が満開となりました。 今 年は、当院の裏に咲く葉混じりの桜も同期と見ること ができ、2度桜を楽しむことができました。近頃はそ んな桜も青々とし、代わってハナミズキが可愛らしい 花を咲かせています。皆様におかれましては、どのよ うな春を迎えられたでしょうか。

さて、春の訪れとともに医局でも新しい顔ぶれを迎 え、気持ちも新たに新年度がスタートしています。私 にも16人の後輩ができましたが、彼らの溌溂とした顔 を見ていると、1年前の自分のことが思い出されます。 入職して間もない頃は、上級医の記載したカルテを解 読するのに何時間もかかったり、薬一つ処方するので も本当にこれで合っているのかと、"今日の治療薬"を 何度も読み返しました。少し慣れた頃になってくると、 「私は今日動脈血ガスを3回も採った」、「僕はCVの 介助に入ったぞ」などと、同期の間で牽制しあったこ ともありました。ただ、今になって考えると、この一年 間でできるようになった手技や身に付けた知識は、程 度の差こそあれ同期の間で大きくは変わりません。そ

そのものや診療科によって異なる疾患の見方の方が、 私たちの実りとなっている、と感じます。また、これま でに出会った患者さんたちのことも思い出します。今 はまだ力になれた!と感じることよりも、もっと他にで きたことがあっただろうなと感じることのほうが多い ですが、そんな想いも医師として成長する上で貴重な 経験でした。昨年度は大収穫でした。これも、日々ご 指導してくださっている先生方や研修制度を整えてく

ださっている方々のおかげです。本当にありがとうご ざいます。 今年度は、更に学びを深めるとともに、若輩者では

ありますが後輩の指導にも尽力したいと考えています。 院内では、力をお借りする場面が多くあると思います が、これからも研修医一同よろしくお願いいたします。

追伸

スクラブのご支援を賜り、誠にありがとうございま した。右肩に刺繍されているサニーちゃんもかわいい と好評で、ほっこりした気持ちで診療に臨めています。

能登半島地震 DMAT隊員が命を守る活躍!

■薬剤部 製剤主任 唐川 雅生



1. はじめに

令和6年1月1日16時10分頃に石川県能登地方を震源 とする最大震度7、マグニチュード7.6の地震が発生しま した。この地震において、岡山医療センターDMAT(以下、 当院 DMAT) が 1月20日~1月23日の 4日間、被災地で 活動したので報告致します。

2. 派遣状況

地震発生直後には、中部地方(富山県、石川県、福井県、 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)に所属 するDMATが派遣されましたが、医療機関への支援や被 災患者の搬送などの継続的なDMAT支援が必要とされ、 全都道府県へDMAT派遣要請がありました。この要請を 受けて、当院 DMAT は災害経験豊富な秋山一郎医師(乳 腺・甲状腺外科)をチームリーダーとし、看護師2名、臨床 工学技士1名、薬剤師1名の計5名で出動しました。

3. 活動内容

当院DMATは、最初に石川県鳳珠郡能登町にある能登 町保健医療福祉調整本部(能登町役場内)へ向かいました (図1)。

本部活動

岡山大学病院DMATから被災者支援を引き継ぎ、本部 活動を行いました。

本部活動の内容は、参集したDMATの指揮及び調整、 地域医療機関の情報収集、石川県災害対策本部などとの 連絡及び患者搬送調整など業務は多岐にわたります。当 院 DMAT は、搬送調整係(図2)、記録係(図3)、連絡係 (図4)、高齢者施設リエゾン係(仲介、橋渡し等の意味で 被災状況の情報収集や支援ニーズを把握し、本部へ情報 提供等を行う役割)に分かれて活動しました。

搬送調整·連絡

能登町にある病院(診療所を除く)は2か所あり、うち 1か所は建物が倒壊する恐れもあり、病院避難が完了し た状況でした。その影響で、能登町の医療を担う病院が1 か所となり医療ニーズが集中したため、継続的な支援が 必要となり、本部で情報を集約し、DMATの支援調整を する必要があります。そこで、搬送調整を担当する秋山医 師と連絡係の石井看護師が患者の搬送調整を担う事とな りました。

記録

記録係(唐川薬剤師)は、本部へ入ってくる情報やミー ティングの内容をクロノロジー(経時的に情報を記録する 方法)に記載し本部情報を総括、各部門のメンバーへ情報 共有を行います。そして、後続隊のDMATや他の調整本 部でも情報を把握できるよう、インターネット上で閲覧 可能なEMIS(広域災害救急医療情報システム)へのアッ プロード作業も行いました。

高齢者施設リエゾン

能登町保健医療福祉調整本部が管轄する高齢者施設は 12か所あり、うち2か所は被災後も100名以上の入所者が おり、感染症に罹患している状況でした。そこで、高齢者 施設リエゾン係(小林看護師と大野臨床工学技士)は、 DHEAT(災害時健康危険管理支援チーム)の保健師とと もに高齢者施設への連絡を行い、施設状況の確認や人的 支援の必要性、支援物資の需要を判断し、DMAT派遣調 整や支援物資の搬送調整を行います。さらには、石川県高 齢者施設調整本部のミーティングに参加し、施設情報を 県全体で共有しました。

4. 活動終了

当院のDMATは、各々の部門に分散し、与えられたミ ッションを確実に正確に遂行し、無事に後続隊のDMAT への引継ぎを行った後(図6)、1月24日に帰院しました。 今回の活動で得られた経験を基に、これからも「いざとい う時のために」日々の訓練・研修を継続していきます。

この度、令和6年能登半島地震に被災された皆様、ならび にそのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。 一 日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。



図1 能登地方 道路状況





図2 秋山医師 医療機関からの患者搬送調整中 図3 唐川薬剤師 本部情報をクロノロ記載







大野臨床工学技士、小林看護師 能登町役 図6 本部活動メンバー 場内にて高齢者施設支援



岡山医療センターDMAT

秋山一郎 医師(乳腺·甲状腺外科)·小林和歌子 看護師(DMAT インストラクター)·石井雅基 看護師·大野開成 臨床工学技 士·唐川雅生 薬剤師 *後方支援 阿座上優大 業務調整員

能登半島地震 DMATロジスティックチーム派遣 現地だからわかった被災者に必要な支援



■DMAT、災害時小児周産期リエゾン 6A病棟 助産師 笹岡 あい

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対して、 私はDMATロジスティックチーム隊員として派遣させて いただきました。DMATロジスティックチームとは、 DMAT都道府県調整本部等の本部活動においての指揮支 援や、DMAT活動に必要な情報収集、移動手段や医薬品、 生活手段の確保等を専門として活動するチームのことを 言います。私は輪島市役所に展開されている輪島市保健 医療福祉調整本部への派遣となり、1月21日~25日の期 間に現地で活動を行いました。

私は避難所班に所属し、ダンボールベッド普及に向け ての避難所調査を行ってきました。避難所班は全国から チーム派遣されてきた日赤救護班やNHO医療班の活動 指揮を担っており、私はそれらのチームに同行させても らいながら合計17か所の避難所を訪問してきました。当 時、輪島市には152か所の避難所があり約4500人の方が避 難所生活を送っておられましたが、私が訪問した頃の避 難所は、防寒面やプライバシー面など様々な面で問題の ある避難所が多く、体育館のような底冷えがひどい場所 でも薄いござや潰したダンボールの上に布団を敷いて寝 られている状況でした。ダンボールベッドを導入するこ とは防寒、感染予防、DVTやADL低下の予防などにつな がるため、輪島市でも順次導入していく計画でした。しか し物流の影響で導入が滞っていたため、限られた在庫を どう割り当てていくべきか優先順位をつけるために、実 際に避難所を訪問し、早急な対応が必要な避難所を抽出 していきました。

このような状況にあったため、2次避難も積極的に進 められてはいましたが「慣れ親しんだ仲間がいるこの地

域に残りたい」という声が多く、2次避難は思うように進 まない現状がありました。私も避難をされている方に[2] 次避難を考えられてはいないのですか?」と伺ってみま したが「大変やけど、みんながおるここにおりたいんよ」 とどの方も同じ思いを話されました。 そんな被災者の思 いを聴き、どんな過酷な状況に置かれても、人が最終的に 必要とするものは"人と人とのつながり"なんだなと痛感 しました。被災地において被災者が本当の意味で求める 支援を行うためには、支援者がいいと思う支援を行うの ではなく、被災者が大切にしていることをしっかりと見 て、聞いて、感じとり、その思いに寄り添った支援を行っ ていく姿勢が大切だということを、身をもって実感する ことができました。これから先さまざまな災害に携わる ことになると思いますが、今回の活動で学ばせていただ いた"被災者の気持ちに寄り添った災害支援"を大切にし ていけるDMAT隊員となれるように頑張っていきたいと 思います。



一緒に活動した救護班と



聞き取り調査

輪島地区で医療支援活動 NHO医療班が被災者に寄り添う

■薬剤部 薬剤師 古賀 和馬

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災され た皆様ならびにご家族に、心よりお見舞い申し上げます。 国立病院機構(NHO)医療班として岡山医療センターは、 1月23日から25日まで輪島地区で医療支援活動を行いま した。

【医療班の役割】

NHOでは、災害発生時の医療支援体制を、初動医療班 と医療班に分け、迅速かつ効果的な支援を実施していま す。

初動医療班:災害急性期(発災後48時間以内)に情報収集 と避難所等における医療救護活動を行う。

医療班: 初動医療班に続く医療救護活動を行う。

今回派遣された医療班は、全員が災害医療の専門知識 を持つDMAT資格者で構成され、久住倫宏医師(泌尿器 科)をリーダーに、看護師2名、業務調整員1名、薬剤師1 名が活動を行いました。

【活動内容】

現地への移動

1月22日午前10時に岡山医療センターを出発し、約7 時間かけてNHO現地災害対策本部のある金沢医療セン ターに到着。その後、現地対策本部とのミーティングを行 い、被災地状況の引き継ぎを行いました。(画像①)。

輪島地区への移動と状況

1月23日朝7時半に輪島市への移動を開始。

道路の隆起や寸断により、通常1時間半で到着できる 距離を5時間かけて移動しました。輪島地区では、電気は 復旧していましたが、上下水道は未復旧で、備蓄水や給水 車、仮設トイレで対応していました。また、水道の未復旧 による衛生面での問題や感染症の拡大も懸念されていま した。(画像②)

避難所での診療

輪島地区にて、鳳至小学校、河井小学校、横地町ふれあ いセンターにある避難所を巡回し、まずは避難所の安全 性評価おこないます。次に、避難者の診療を行いました。 3日間で15人の避難者の診療を行いました。そこでは、感 染症や偏った食生活による体調不良、被災による精神的 なダメージなど、様々な症状がみられます。患者さん一人 ひとりに寄り添い、丁寧な診療を心掛けました。(画像⑤ (6)(7)

宿泊と夜間診療

3日間で避難所だけでなく、被災直後から病院で働く スタッフの方々に少しでも休息の時間を設けて頂けたら と、市立輪島病院の夜間診療をサポートさせて頂きまし た。また、宿泊は、市立輪島病院の空いている病室をお貸 し頂き、持参した寝袋を敷いて我々の休息を取りました。

活動終了

1月26日、3日間の活動を終えて岡山医療センターに 帰院しました。

終わりに

一日も早い復興を心より願うとともに活動報告とさせ ていただきます。



金沢医療センターでのNHO現地災 画像② 輪島市内の様子 害対策本部とのミーティング



輪島市役所災害対策本部の様子



画像⑦ 薬の説明を行う薬剤師



画像④ 輪島市役所災害対策本部の様子



画像⑧ 患者さんに寄り添う看護師



の合った診療の様



画像⑤ 医師と看護師の息 画像⑥ 避難所の安全性の 評価のための調査 を行う業務調整員



画像⑨ 医療班メンバー

岡山医療センター 医療班メンバー 久住倫宏 医師(泌尿器科): 奥家弓美子 看護 師·下江竜祐 看護師·松村唯永 業務調整員·古 賀和馬 薬剤師

*後方支援 阿座上優大 業務調整員

「令和5年度中国四国グループ臨床研修 指導医養成講習会」のご報告

■教育研修部長 清水 順也

令和5年11月22日-23日に、丸亀市「マルタス」において、 令和5年度中国四国グループ臨床研修指導医養成講習会 (NHO中国四国グループ主催)が開催されました。医師臨 床研修制度は平成16年に必修化され、現在は医師臨床研 修指導ガイドライン2020年度版に沿った研修が行われて いますが、ここでの指導医とは、原則7年以上の臨床経験 を有し、指導方法等に関する講習会を受講していること が必須とされています。当院からは、神谷雄作(新生児科)、 大山麻美(新生児科)、藤原進太郎(小児科)、鳥越英次郎 (呼吸器外科)、服部瑞穂(総合診療科)(すべて敬称略、以 下同)の5名が受講生として参加しました。今回の研修会 を経て当院の臨床研修指導医は76名となりました。当院 での臨床研修がさらに充実することが期待されます。

参加者は、まずe-learningで十分な予習を行って講習 会に臨みます。当日は、他己紹介等のアイスブレーキング に続き、「地域社会から求められる医師の基本的臨床能力 とは」、「研修プログラムの立案、テーマ決定」、「到達目標 の作成」、「研修方略・形成的評価」、「研修医のやる気を高 めるカンファレンスのあり方」、「コーチング」、「研修医へ のフィードバック技法」、「一次評価票の作成・総括的評

価」、「有意事象分析(SEA)」、 「プロフェッショナリズム」、「臨 床研修の充実に向けて」といっ た内容で、2日間にわたって一 連の多くのワークショップ(WS) に参加し発表を行い、また各種 講義を受講しました。研修プロ グラムの到達目標、方略、評価方 法などがどのように考えられて 作成されているのか、一つ一つ作 業をしながら理解を深めました。 また開催者側では昨年度に引

して太田徹哉(統括診療部長)、タスクフォースとして平 見有二(呼吸器外科医長)と清水順也(教育研修部長)が参 加し、WSや講義の一部を担当しました。数か月前からの 準備予行に続き前日に丸亀入りして入念な打ち合わせを 行い当日に臨みました。コロナ禍のため昨年度はオンラ イン開催(タスクは現地集合)でしたが、今年度は3年ぶ りの現地開催ということで、対面ならではの緊張感と充 実感がありました。現地開催でGoogleドライブを駆使 したWSの進行や発表形式は、太田統括が主導で作り上 げられたもので、時代にあわせて進化したものとなって いました。私自身は2回目のタスク参加でまだまだベテ ランタスクの足元にも及びませんが、臨床研修制度全般 について理解を深めることができましたし、新たに指導 医となる先生方の情熱を感じ、大きな刺激を受けました。 これからも当院が臨床研修病院として多くの医学生から 選ばれ、2年間の研修修了時には医師として期待以上の 成長を得られる病院であり続けることを目指していきた いと思います。



令和5年度チーム医療研修 「チームで行う小児救急・成育」開催

■教育研修部長 清水 順也

2023年12月8日、当院研修室において、NHO本部主催 の令和5年度チーム医療研修「チームで行う小児救急・成 育」が開催されました。中四国を中心に、関西や関東甲信 越から、医師看護師など計26名が受講し、当院からは専攻 医、研修医、看護師が参加しました。救急コース、成育コ ースにわかれて、グループワークなどを通して職種や経 験年数の違う受講者がお互い意見交換し、チーム医療へ の理解を深めました。企画運営は主に当院スタッフが中 心となり他の機構病院と共同して行いました。4年ぶり

の開催で現地集合形式でしたので、グループ討論、全体発 表、ロールプレイなど受講者参加型のコンテンツを中心 とし、各グループがチームへと昇華し、各自がさらに課題 を探索していくようになることを意識しました。特別講 演では岡山大学病院救命救急科塚原紘平先生による「チ ムで成功する小児救急」、ランチョンセミナーでは岡山 市保健所医療専門監中村和恵先生による [Safe Sleep - 乳児の安全な睡眠環境を考える―」をお話頂きました。 受講生、スタッフともども多いに学んだ研修会でした。













ChatGPTに関する講演会がありました

■呼吸器外科医長 平見 有二

演題名:未来を拓くChatGPT ~医療の新たな可能性~

日 時:2024年2月29日

場 所:国立病院機構岡山医療センター研修室

師:岡山大学学術研究院医歯薬学域地域医療共育推 進オフィス特任准教授・香田将英先生

対 象: 当院職員

内 容: ChatGPTは、Open AIが公開したAIサービス であり、大規模言語モデルに基づいて高品質な対 話を実現しています。文章作成の効率化や論文の 要約、情報収集などに応用されており、未来の医 療の質向上に寄与することが期待されています。 この度、書籍「医療者のためのChatGPT」の著者 でもある岡山大学の香田先生にご講演いただきま した。この講演では、ChatGPTの医療分野への

応用可能性と具体的事例、使用上の注意点、今後 の課題などについての話がありました。講演後の 質問は長時間に及び、当院職員の関心の深さが感 じられました。画期的な便利なツールが目の前に あります。上手に使いこなして患者さんにも還元 したいと感じる今日この頃です。





良質な医師を育てる研修 「呼吸器疾患」が当院で行われました。



■呼吸器内科 柴山 卓夫

国立病院機構では、機構のネットワークを活用した専 門医・指導医による診断・治療に関する実地教育を全国各 地で行っています。今回、中国・四国グループが主催し呼 吸器疾患に対する良質な医師を育てる研修を二日間に渡 り岡山医療センターで行いました。各テーマのエキスパ トである講師陣から指導が受けられる貴重な研修プロ グラムとなっています。スキルアップを目的とし毎年全 国から多数の参加希望があります。今回も北は仙台、南は 鹿児島からの参加があり、当院からは柿内美槻先生、古田 口惟先生、來間俊介先生が参加されました。参加者からは 学ぶ意欲を強く感じとれ、活発な研修会となりました。今 後も、良質な医師へ少しでも近けれるようお手伝いがで きればと思います。来年度の参加をお待ちしております。

研 修 名:良質な医師を育てる研修「呼吸器疾患」

時:2024年2月15日、16日 \Box

場 所:岡山医療センター

扙 象:国立病院機構病院の初期研修医・専修医(後期 研修医)等

研修内容:研修前e-learning

- ① [胸部] HRCTの読影
- ② 肺がん外科的治療講義
- ③ 肺がん内科的治療講義
- ④ 感染性肺炎講義
- ⑤ 非感染性肺炎講義
- ⑥ 喘息·COPD講義
- ⑦ 胸腔穿刺・ドレナージ実習前講義
- ⑧ 気管支鏡実習前講義

100

- ① 症例検討(呼吸不全)
- ② 症例検討(腫瘍)
- ③ Hands on session(人工呼吸器、胸腔穿 刺・ドレナージ、気管内挿管)

2日目

- ① 胸部CT読影のコツ
- ② 寺小屋式胸部画像読影
- ③ Hands on session(気管支鏡操作/異物 除去·EWS、超音波内視鏡·EBUS-GS/ EBUS-TBNA、硬性鏡)





気管内挿管





人工呼吸器

令和5年度 緩和ケア研修会

■緩和ケア推進室長 宮武 和代

令和6年3月2日に、医療者を対象とした緩和ケア研 修会を4年振りに開催しました。講師に日本赤十字社医 療センター化学療法科部長の國頭 英夫先生をお迎えして、 「死にゆく人と、どう話すか」というテーマで、困難な状況 にある患者さんとのコミュニケーションについてご講演 いただきました。

医学の祖と言われるヒポクラテスの言葉に、「医者には 三つの武器がある。第一に言葉、第二に薬草、第三にメス である」とあり、薬草(内科的治療)やメス(外科的治療)の 前に「言葉」があるとされているそうです。コミュニケー ションというのは医療において決定的な重要性を持ちま すが、医療者と患者さんの間でその「言葉」が果たす役割 はわずか7%程度で、残りの9割以上は表情・姿勢・身振 り、声の調子など言葉以外の要素で決まっているという 研究があるとのこと。医療者は患者さんやご家族に信頼 され、病状や治療、予後の見込みなどに関して必要な情報 を伝え、サポートしていくためにどのようなことが必要 なのでしょうか。

國頭先生は、臨床の現場でがん患者さんの診療を続け ておられるうえに、日本赤十字看護大学でのコミュニケ ーションに関するゼミの記録から生まれた 「死にゆく患 者(ひと)と、どう話すか」の他、里見清一というペンネー

ムでも多数の著書があります。医療ドラマの監修などの ご経験も交えて、厳しい状況にある患者さんとご家族に どのように向き合い、どう語るかをお話しいただきまし た。

院内外から100名を超える多職種の皆様にご参加いただ き、質疑応答も含めて2時間近く、有意義な時間を共有で

きたと思いま す。いただいた ご意見を参考 に、今年度も研 修会を企画し たいと思いま す。今後とも緩 和ケア推進室 にご支援賜り ますよう、よろ しくお願い申 し上げます。



主催:岡山医療センター緩和ケア推進

医学の進歩に積極的に 関与する部署です。

治験における安全管理をしています

■治験管理室 治験主任 唐木 佑美

冬の寒さが残る中、春のあたたかさも感じられるよ うになった今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょ うか? 私たち臨床研究推進室でもこの春から 新しい 治験を数多く予定しています。新年度に入りましても、 よりよい治験の進行と患者さんの満足度を保てるよ う、スタッフー同努力する次第です。さて、今回は「治 験の安全性」について一言。年配の患者さんの中には 『治験=人体実験』という悪いイメージをお持ちの方も いらっしゃいます。非常に残念なことですが、過去に 一部の医学研究の歴史ではそのような事実もありまし た。そのようなことは今後あってはならないと、現在 では患者さんの安全性や人権を最大限守りながら治験 を進めていくために、※GCPと呼ばれる国が作った 治験のルールがあり、このGCPに沿った治験を実施 しています。具体的な例としましては、■治験を実施 するときは、治験の内容を国に届け出ること。■治験 を実施する前に、治験審査委員会で治験の内容(科学 的・倫理的に正しく実施できるか)をあらかじめ審査す ること。■文書による同意を得られた方のみ参加させ ること。■重大な副作用は、国に報告すること等が定 められています。また、治験参加中に様々な検査を行 い、健康状態の確認を行ったり、新たな情報が得られ た際には治験に参加している患者さんに説明し、治験 を継続する意思を確認したりと、安心して治験に参加 して頂けるよう努めております。



特定看護師通信 Vol.4

特定看護師バッジ授与式が行われました

令和6年に新たに特定看護師に認定された2名に特定看護師バッ ジが授与されました。特定看護師はスクラブの左袖にバッジをつけ



成田特定看護師

て活動しています。 バッジに使用されている特定看護師シン ボルマークは「ヘリオトロープ」の葉をモチーフにしており、 明るい未来に向かって患者さんをサポートする様子を表し ています。

手術室 成田特定看護師(手術看護認定看護師)、9 A 病 棟 渡邊特定看護師が加わり、これからは5名の特定看護師 が各部署で活動を行っていきます。新たに特定看護師に認定 された2名は、これから指導医のもとで実践経験を積み、独 り立ちを目指します。



渡邊特定看護師

「特定認定看護師」を聞いたことがありますか?

認定看護師を目指すためには、専門の教育機関での研修が必要となります。教育機関にはA課程とB課程の2種 類があります。A課程とB課程の教育機関の違いは特定行為研修の有無です。A課程は従来の認定看護師教育課程 と同様のものですが、2026年をもってカリキュラム終了となります。B課程は日本看護協会の認定看護師制度改定 により、2020年度から認定看護師教育に加え、その分野に必要な特定行為を1年間で同時に学び修了することがで



感染管理特定認定看護師 (B課程認定看護師) 片山紗央里

きます。教育機関では講義やグループワーク、フィジカルアセスメントを通して臨床推 論や病態判断について学び、臨床実習で手順書を作成し特定行為を実施します。

私が受講した感染管理教育課程では「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」と「感染 にかかる薬剤投与関連」の2つの区分を取得します。感染症の発症は栄養や水分のバラ ンスを崩し兼ねません。また感染症の治療は適切かつ的確なタイミングでの抗菌薬の投 与が患者の予後、薬剤耐性菌の予防に繋がります。特定行為研修で学んだ医学的知識を もとに、病態の変化や疾患、患者の背景を包括的にアセスメント・判断し、質の高いケア を実践できるよう取り組んでいきたいと思います。

特定行為の紹介



ず特定行為は医師が看護師に診療の補助をしても らうために、その指示の内容を作成した【手順書】 をもとに行います。

創部ドレーンの技法

急性期病院である当院では、毎日多くの手術が行われており、術後、様々な創部ドレーン(管)が留置されて帰室され る患者さんも多くいらっしゃいます。 術後の経過とともに排液の必要性がなくなったドレーン(管)類は、患者さんにと っては不要なものとなります。高齢患者さんにとってはドレーン(管)類の留置はせん妄の要因の一つとなり、自己抜去 のリスクも生じるため、不要なドレーン(管)類の抜去は患者さんの安全・安楽のために重要です。

特定看護師である私たちは、医師の手順書をもとに患者さんの状態を判断し、排液が不要と判断されたドレーン(管) を抜去することができます。不要となったドレーン(管)類をタイムリーに抜去することで、患者さんの苦痛を緩和でき、 早期離床にも繋げることができます。



ダブルブラッシング法

■歯科医長 山近 英樹

前回の歯科だよりでは、フッ化物配合歯磨剤につい てご説明しました。そして最後にほんのわずかしか触 れていなかったのですが、「フッ化物配合歯磨剤をつ かった歯磨きの後は、あまりうがいをしないこと」をお 勧めしました。これは、う蝕(むし歯)予防のために、フ ッ素が口の中に長く残ることが重要であるためです。 フッ化物配合歯磨剤は軽くはき出す、あるいはうがい をする場合は少量の水で1回のみ行うことが推奨され ており、さらには、1~2時間程度は飲食を控えるこ とが勧められています。

少し古い論文ですが、イギリスで行われた研究では、 フッ化物配合歯磨剤によるブラッシング後の洗口に関 して、コップを使用してうがいをした者と、うがいを全 くしなかった者との間で、平均DMFT指数がそれぞ れ3.97と2.91であることが報告されました(PFAsh ley, etc. Caries Research, 33 (5):401). DMFT指数は、むし歯経験歯の平均歯数を示し、端

的にいえば値が大きいほどむし歯が 多く、小さいほどむし歯が少ないことを示します。つま りこの論文は、フッ化物配合歯磨剤によるブラッシン グ後、うがいをしない方がむし歯が発生しにくいこと を報告しています。

しかし皆さんは歯磨きの後にしっかりとうがいをし たくないですか? それは、例えばボディーソープの 汚れを十分に洗い流さずにシャワーから出ることが勧 められるようですよね。そんな方々には、今回のタイ トルにあるように「ダブルブラッシング法」をご紹介し ます。正しい日本語訳はわかりませんでしたが、内容 は1回目はフッ化物配合歯磨剤を使用して、または使 用せずに歯を磨き通常通りしっかりとうがいをします。 2回目はフッ化物配合歯磨剤を使用し、1回だけうが いをするわけです。時間は倍かかるかもしれませんが、 汚れを残して服を着るような気分から解放されること でしょう。よかったら参考にしてみてください。

ナース室 通信

皆さんを感染から守る役割

Vol.53

2023年12月に感染管理認 定看護師となり、今年度より リソースナース室に加わりま

した。私は救急病棟で勤務しており、現在はリンクナー スとして所属部署で感染対策の充実を図るため日々活 動しています。私が感染管理認定看護師を目指すきつか けとなったのは所属部署が感染症病棟になったことで す。 当時ICTリンクナースをしており、COVID-19に対 する感染対策を実施するために感染管理認定看護師に 指導を頂き、受け入れ準備やスタッフへ感染対策の指 導を行いました。当初は初めて経験することや分からな いことばかりで不安や戸惑いを感じました。活動を通し ていくうちに次第にスタッフから感染対策について質 問されることも多くなり、感染症病棟になる前に比べて

スタッフの感染対策に対する意識や行動に変化 が見られるようになりました。私自身それ

> リソースナースとは、専門性の 高い看護の技術・知識を習得した 看護師のことです。

■感染管理認定看護師 片山 紗央里

までは感染対策にあまり興味がありませんでしたが、活 動を通して改めて平時からの感染対策の重要性に気付 くことができました。そして根拠をもって適切な判断や 指導を行うためには専門的な知識や実践力を身に付け る必要があると考え、上司のすすめもあり、認定看護師 教育機関を受験しました。

感染管理認定看護師は患者さんやその家族、職員な ど病院内全ての人々を感染から守る役割があります。感 染管理は一人の力ではなし得ず、病院内全ての方々の 協力を得ることが必要です。そのために看護師や他職 種とも協働し、現場で必要な情報やより実現可能な感 染対策を共に考え、発信し、患者さんが安全に治療を 受けられる環境と職員が安全に働ける環境作りを目標 に取り組んでいきたいと思っています。

感染管理認定看護師としてリソースナースの一員とし て感染管理活動を通して質の高い看護の提供に貢献で きるよう、尽力していきたいと思います。感染対策につ いて何かありましたらお声がけください。



作品名:連作交響詩『わが祖国』-第2曲 モルダウ(ヴルタヴァ

Má Vlast - 2. Die Moldau (Vltava)

作曲者:ベドジフ・スメタナ(またはベドルジハ・スメタナ、ベトルジヒ・スメタナ)

Bedřich Smetana (1824-1884)

■クラシックソムリエ 米井 敏郎



の作曲家です. チェコは当 時,オーストリア帝国,次 いでオーストリア=ハン ガリー帝国の統治下に置 かれていたため, スメタ ナの世代はドイツ語によ る教育を受けており、スメ タナ自身, 母国のチェコ語 には充分習熟していませ

スメタナはチェコ生れ

ベドジフ・スメタナ

んでした. スメタナは猛勉強した結果, 1864年頃には チェコ語を流暢に話すことができるようになったとい われています. スメタナは, チェコの民族主義的な音 楽を書いた最初の作曲家であり、そのため、チェコ国 民楽派の開祖といわれています。 『モルダウ』は、連作 交響詩『わが祖国』の第2曲目の交響詩であり、演奏所 要時間は12分ぐらいです. 『わが祖国』は、1. ヴィシェ フラド (Vyšehrad), 2. ヴルタヴァ (Vltava), 3. シャー ルカ(Šárka), 4. ボヘミアの森と草原から(Z českých luhů a hájů), 5. ターボル (Tábor), 6. ブラニーク (Bl aník) の6つの交響詩からなり、祖国であるチェコの歴 史, 伝説, 風景を描写した作品で, 1874年~1879年に かけて作曲されました. しかし哀しいことにスメタナ もベートーヴェンと同じく、1874年の末頃になると完全 に聴力を失ったのでした。作曲家にとって聴力を失う ことがどんなに残酷なことか、それは想像を絶するも のがあったと思います。第2曲の『モルダウ』というの は川の名前です。 ヴルタヴァ川 (チェコ語: Vltava, ド イツ語:Moldau)は、チェコ南西部の山地に源を発し、 ボヘミア地方を南から北に流れ、プラハを貫流してエ ルベ川に注ぐチェコ国内最長の川です. 日本ではドイ ツ語読みの『モルダウ』という名称の方がポピュラー ですが、本来の名称は『ヴルタヴァ』ですので、最近の CD等では、表記が『ヴルタヴァ』となっているものも 増えてきています. スメタナは, 「この曲は, ヴルタヴ ァ川の水路を描写している. ヴルタヴァ川は, 冷泉と 温泉の2つの源流から流れだし、それらが合流し一つ の流れとなる。 そして森や牧草地を経て、 農夫たちの 結婚式の風景の傍を流れる. 夜となり、岩のほとりで ぼんやり見える高城と宮殿や廃墟の傍を流れ、月光の 下で人魚たちが舞う。ヴルタヴァ川は聖ヨハネの急流 で渦を巻き、そこを抜けると、川幅を拡げながらヴィシ ェフラド城を通り過ぎ、プラハに向かって流れ、そして 最後はエルベ川となる」と述べています。この作品の 実際の響きをスメタナがどんなに自分の耳で確かめ たかったことだろうかと、思いをいたすと胸が締め付 けられます.

さてお奨めのCDですが、1. Rafael Kubelík (1914-1996) 指揮, バイエルン放送交響楽団との録音 [1984] 年録音, BIS]. この録音はスメタナ没後100周年を記念 して行われたようです。2. Václav Smetáček (1906-1986) 指揮, チェコ・フィルハーモニー管弦楽団, [1980] 年録音, Supraphon]. スタイリッシュでチェコの民族 臭はあまり感じられず, ちょっと冷静で端正な佇まい の演奏です. 3. 西本智美 (1970-) 指揮, ブダペスト・ フィルハーモニー管弦楽団, [2009年録音, King Reco rds]. まさに 「男装の麗人」 といってもよい西本智実に は男性ファンだけでなく女性ファンも多いのです. 指 揮する姿は, 颯爽としていてカッコいいと思います. 4. Karel Ančerl (1908-1973) 指揮, チェコ・フィルハー モニー管弦楽団, [1963年録音, Supraphon]. カレル・ アンチェルの演奏はとても熱く,胸にぐっとくる演奏 です. 5. Robert Kabara (1964-) 指揮, Sinfonietta Cracovia, [2013年録音, DUX]. このCDのメインの 楽曲はZuzanna Szambelan (1993-)のチェロによる ドヴォルザークのチェロ協奏曲なのですが、その余白 に『モルダウ』が収録されています.

さて YouTube ですが、1. Jiří Bělohlávek (1946-2017) 指揮, チェコ・フィルハーモニー管弦楽団. ビエ ロフラーヴェクはチェコ出身の指揮者で, 2015年11月 の来日公演(NHKホール)で『わが祖国』の全曲演奏 を行いました. タイトルは、 "CZECH PHILHARMON IC - Má Vlast (Bedřich Smetana)" です. 2. Tomáš Netopil (1975-) 指揮, チェコ・フィルハーモニー管弦 楽団. 2018年の「プラハの春」 音楽祭のオープニング コンサートの収録です. タイトルは, "Prague Spring 2018 Opening Concert - Bedřich Smetana: Má vl ast, Czech Philharmonic, Tomáš Netopil" です.

今回取り上げた『モルダウ』は、予備知識なく聴いて も,何となく郷愁を呼び覚まされるような傑作です. 別にチェコ出身の人々でなくてもそのように感じられ るというのはやはり、音楽の力なのだろうと思います。 可能であるならば、いつかこの連作交響詩『わが祖国』 の全曲をどこかで聴いてみることをお奨めします.





「春野菜」を食べて心も身体も健康に!



春は、新年度が始まり環境の変化が多い季節ですね。季節の変わり目ということもあり、心と身体のバランスを保つ自立神経が乱れやすくなります。「春野菜」を積極的に食べて、心も身体も健康に新年度をスタートしましょう!

■管理栄養士 山田 朱莉

【春野菜の栄養】

春になると「春」や「新」といった 冠をつけて呼ばれる野菜が店先にならびます。これらは通年手に入るも のに比べて皮が薄く、甘くてみずみ ずしい特徴があります。

春野菜は、冬の厳しい寒さを耐えて成長してきたからこそ、優れた栄養素が豊富に含まれており、冬の間に体内に溜まった老廃物を排出します。身体の代謝が良くなり、心と身体をリセットさせる働きがあります。



፟፟፟ 保存方法アドバイス

キッチンペーパーや新聞紙でくるみ、ポリ袋に入れるかラップで包むと、蒸れや湿気を防ぎます。

●新じゃがいも

▲皮が薄くてやわらかい

- ●カリウム:高血圧予防、むくみ防止
- ビタミン C: 抗酸化作用、皮膚や粘膜の健康維持

●新たまねぎ

▲表面が白っぽい

●アリシン:新陳代謝促進、疲労回 復、動脈硬化予防

●春キャベツ

▲寒玉に比べて小玉で軽く、濃い緑色

- ●ビタミンU(キャベジン):胃酸の 分泌抑制、胃腸粘膜の修復・強化
- カルシウム: 骨粗鬆症予防、ストレス緩和

【岡山県の春野菜】地域ブランド

●牛窓甘藍キャベツ

甘味が強くジューシーで、糖度は13度と非常に高いです。生食でも加熱しても食味が良いので、蒸し野菜やサラダ、お好み焼きなど広く親しまれています。

●藤田レタス

シャキシャキとした歯ごたえと苦みのない甘い味わいが特徴です。 巻きがふんわりしているものを選ぶと◎。切り口が10円玉くらいの小ささで、白いものほど新鮮です。

●千両なす(冬春なす)

歯ざわりと果肉の柔らかさが特徴で、色、艶、果肉のしまり、揃い、全ての面で大変高い評価を受けており、品質日本一と言われています。4月17日はヨ・イ・ナ・スと語呂が良く、なすび記念日とされています。

~岡山県産春野菜を使った地産地消レシピ~

なす餃子



1人分の栄養量

● エネルギー 212kcal

たんぱく質 12.3a

●脂質

14.2g

●炭水化物 7.9g

• 食塩相当量 1.0g

お好みで酢醤油やラ ー油を付けてお召し 上がりください

【材料】(2人分)

●なす……中1本

●キャベツ……3~5枚

●豚ひき肉……120g

● おろしにんにく……小む1/2

● おろししょうが……小む1/2

● 塩……少々

●こしょう……少々

●砂糖……小む1/2

●醤油……小む2

●ごま油……大む1/2

●片栗粉……適量

● サラダ油……大む1/2

作り方

- ①なすは縦に5mm幅の厚さで切り、水にさらす。耐熱皿に並べてふんわりとラップをかけ、電子レンジ600Wで1分~1分30秒ほど加熱して冷ます。キャベツはみじん切りにする。
- ②ボウルにひき肉、塩、こしょうを入れ混ぜる。さらにキャベツ、Aの材料を加えてよく混ぜる。
- ③加熱したなすの水気をキッチンペーパーで拭き 取り、片栗粉をまぶす。
- ④なすに②をのせて半分に折り、形を整える。
- ⑤フライパンにサラダ油を敷き、④を並べて、両面に焼き色がつくまで焼く。フタをして弱火で5分程度蒸し焼きにする。

参考文献:野菜の話題 | 岡山市 (city.okayama.jp) キャベツ | JA岡山の特産品 | JA岡山 (ja-okayama.or.jp) 千両なす | JA全農おかやま (zennoh.or.jp)



睡眠薬についてお話します



■薬剤師 佐藤 達弥

ストレスや生活リズムの乱れから成人の約5人に 1人は何らかの不眠症状を有しており、約20人に1 人は睡眠薬を服用していると言われています、今回 はそんな睡眠薬について説明します。

不眠は4つのタイプに分けられ、それぞれに合わせた薬の使い分けが必要です。

,	中途覚醒●夜中に何度も目が覚める
●寝つくまで 1 時間以上かかる 	
早朝覚醒●望む時刻より2時間以上早く目が覚める	熟眠障害●朝起きた時にぐつすり寝た感じが無い
●まだ眠りたいのに眠れない	

●ベンゾジアゼピン系睡眠薬

超短時間: トリアゾラム(ハルシオン®)、 短時間型: ブロチゾラム(レンドルミン®)など

入眠障害、中途覚醒時の頓用使用に適している。 服薬から入眠までの間や、途中で起きた時の出来 事を覚えていない前向性健忘、依存性や離脱症状 に注意。

中間型:フルニトラゼパム(サイレース®)など、

長時間型:クアゼパム(ドラール®)など

早朝覚醒、熟眠困難に適している。

長く効きすぎる事で日中の眠気、集中力の低下などの持ち越し効果に注意。

●非ベンゾジアゼピン系睡眠薬

超短時間: ゾルピデム (マイスリー®)、エスゾピクロン(ルネスタ®) など

脱力や転倒などの副作用や持ち越し効果が少ない ものの、依存性に注意。

●メラトニン受容体作動薬

ラメルテオン(ロゼレム®)

メラトニンは 「睡眠ホルモン」 とも呼ばれ、体内時計を夜に調節し睡眠を促す。

効果は弱いが耐性や依存性が生じにくく、副作用 が少ないため高齢者などに使いやすい。

主に肝臓で代謝されるため、高度な肝障害のある患者に禁忌。

●オレキシン受容体拮抗薬

スボレキサント(ベルソムラ®)

覚醒物質であるオレキシンの効果を阻害し、睡眠 を促す。

入眠障害と中途覚醒の両方に効果がある。

副作用の悪夢に注意。

このように薬の種類も豊富で使い勝手の良い薬も 沢山ありますが、「薬が無いと不安で眠れない」とな ってしまうと危険です。しっかり日光に当たり、体を 動かして、枕元でのスマホの使用は控え、生活リズムを整えるなど事も大事です。

参考文献 今日の医薬品2023. 南江堂. 薬が見える. メディックメディア.





卒業を迎え、コロナ禍での学生生活を振り返って

■看護学科3年生 富田 杏菜

私たちはコロナ禍の令和3年4月に入学しました。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オ ンライン講義となったり、実習が臨地で行えない時に は、学内に置き換えて実習ができるように工夫して下 さいました。令和5年度は新型コロナウイルス感染症 が感染症法上の5類に移行したことで、仲間どうしで 助け合いながら学習することができ、臨地実習では患 者さんに看護を実施できる喜びを感じました。面会が 制限され家族に会えない中で闘病生活を送っておられ る状況で私たち看護学生を受け入れて下さった患者さ んに感謝の気持ちでいっぱいです。そして、コロナ禍 においても実習指導を熱心にして下さった実習指導者 の皆さまをはじめ、関係者の皆さまにも心から感謝し ています。

看護学科の3年間、切磋琢磨しながらともに歩んで きた仲間たち全員で看護師国家試験に合格し、卒業後 は看護師として患者さんや家族に寄り添った看護が実 践できるよう、今後も自己研鑽を続けていきます。



看護研究発表会の様子



卒業にあたって

■助産学科第13期生 坂井 瑞都

4月から私達16名は新しい仲間とともに「助産師に なりたい」という同じ夢に向かって切磋琢磨し、経験 を積み重ねてきました。入学後まもなく専門性の高い 講義や、分娩介助技術習得に向けた練習が始まりまし た。振り返ってみると自分で思い描いていたよりも上 手にできないことも多くありましたが、不思議と自分 の目指す分野について学ぶことは「苦しい」よりも「楽 しい」と感じることが多かったです。

特に臨地実習では、様々な妊産褥婦の方々と関わる ことで、瞬時の判断力が母子の生命に影響することを

学び、専門職としての責任の重さを実感しました。来 春から助産師として質の高いケアを提供できるよう、

この1年間で学んだ診断技術力を活かし精進してま いります。

私達を受け入れてくださった妊産褥婦の皆様とご家 族、実習施設の皆様に心より感謝申し上げます。



学生祭を終えて~4年振りに地域の方を迎えて~

■看護学科2年 矢狹 京香

令和5年11月3日(金)に「同心協力~心を繋ぐ虹 の架け橋~」をテーマに学生祭を開催しました。4年 振りに来校型で開催することとなり、地域・病院関係者 の皆さまと学生が学生祭を通して繋がりを持って欲し い、という気持ちを込めてこのテーマに決めました。地 域・病院関係者の皆様を迎えて行う学生祭にむけて、 実行委員や各リーダーが、準備から当日の運営まで積 極的に取り組み、みんなで力を一つにして創り上げて いくことの大切さに気付くことができました。当日は、

地域・病院関係者の皆さまに来校いただき、「手浴しな がら学生と交流できて楽しかった」「妊婦体験で妊婦さ んの大変さを知る機会となってよかった」等の言葉を いただき、来校された方々に当校を知っていただく機 会になったと感じています。これらの経験を活かして、 学校生活や実習に励んでいきたいと思います。

この場をお借りして、学生祭のご協力頂いた地域・ 病院関係者の皆さまにお礼申し上げます。







安全な薬剤管理を目指して

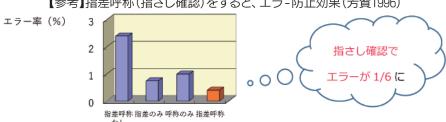


■看護師長 香川 亮子

セーフティーマネージャー会議(薬剤グループ)では、安全 な薬剤管理を行うために『①インシデント防止のため、イン シデント事例を分析し、原因を追究し、行動できる対策を立 てることができる ②行動できる対策をポスター表示や、医 療安全研修で全体に周知することができる』を目標に上げ 取り組んでいます。 令和5年度の調査では、薬剤インシデン

トの内、投与量のインシデントが39%と一番多くみられまし た。このことも踏まえ、病院の全職員が6尺(正しい患者・ 正しい薬物・正しい目的・正しい用量・正しい用法・正しい 時間)の確認行動が習慣づくよう、9月と2月にポスターを 作成し、院内の掲示板に掲載しました。また、その中には、 指差呼称(指さし確認)のエラー防止効果も記載しました。

【参考】指差呼称(指さし確認)をすると、エラ-防止効果(芳賀1996)



画面表示に応じたボタンを押す作業を一人当たり100回×4種類行ったときのエラー発生率

今後も、薬剤に関するインシデントを未然に防ぎ、安心できる医療が提供できるよう、6 Rの指差呼称 を徹底し、安全な薬剤管理を行っていきます。



岡山医療センター分院 金川病院だより

■金川病院庶務班長 白髭 瑞江

令和6年4月1日より、『金川訪問看護さくら看護協会』を開設する事となりました。

『金川訪問看護さくら看護協会』は、みつ訪問看護ステーション看護協会のサテライトステーションとして 当院一階外来スペースに事務所を設け、みつ訪問看護ステーションの職員が1名常駐し、金川病院をご利用いただいている患者さんやその家族の在宅医療に関する様々な相談に対応してきたいと考えております。

それに先立ちまして、令和6年3月30日に当院外来待合にて開所式を行いました。金川病院の患者さんを共に支えて下さっている地域の介護施設や薬局、ケアマネージャーさんをお招きし、ささやかながらも開設のご案内をさせていただく事が出来ました。

当院の位置する岡山市北区北地域は進む高齢化と、 独居、老老、認認介護の家庭が増加しています。地域 密着型病院としての当院の役割は、

端なる疾病への対応ではなく、住み慣れた家での生活 や療養継続を可能にするための心身の健康と安全・安 心の提供と考えています。これからも患者さんおよび その家族の「自宅で過ごしたい・過ごさせたい!」とい う気持ちに寄り添い、不安のない最適な療養環境の構 築に最善を尽くしていきたいと思います。













表紙写真●音楽家の名前が付けられた薔薇 上段:マリア・カラス(ソプラ/歌手), 下段:ニコロ・パガニーニ(作曲家)



新年度となり岡山医療センターでもたくさんの新しい仲間を迎えることができました。ジャーナルの担当である医療広報推進室もメンバーの入れ替わりがあり新メンバーでのスタートですが、皆さまに興味を持って楽しく読んでいただける内容になるようにメンバー皆で頑張ろうと思っていますので、ご愛読のほどよろしくお願いします。

■医療広報推進室 榊原